

KRC WEB REPORT

KRC ウェブレポート

2003年8月5日号 No.005

今月のキーワード： 情報開示関連業務

今月のメッセージボード

フラーレンなどナノテク素材の商品化にメドがついたと思ったら、これを利用した燃料電池の実用化が一気に加速してきました。家庭が電線から開放されるとなるとこのライフラインは PLC(電力線通信)に変身…。ひとつの基幹技術が成熟して経済が伸びきったあとに、次世代の社会システムが再構築されて新しい時代がはじまる。技術を手に入れた人類が登ってきた階段が、私たちの前途にずっと続いていることを確信させられる今日このころです。いや、暑さに脳が異変を起こしたに過ぎない「真夏の世の夢」ですって？ せっかくの夏休み。あなたもこどものように、楽しい夢を見ませんか？

KRC Monthly ホームページダイジェスト

KRC ホームページ 【 <http://www.krcnet.co.jp/> 】

- ★ KRC 発表の学術論文は、【 http://www.krcnet.co.jp/f_papers.htm 】に掲載しております。現在各論文の電子化を進めております。PDF ファイルでの掲載分はダウンロードしてお使いください。
- ★ 当社の技術者たち No. 4 に国立広島原爆死没者追悼平和祈念館建設工事において掘削施工に係る土留め計測管理を担当した花倉宏司を紹介しています。【 http://www.krcnet.co.jp/f_engineer.htm 】
- ★ 当社では工事現場等のホームページ制作を行っております。今月は「新技術紹介」で、日光川放水路西中野排水機場 HP などについてご紹介します。【 http://www.krcnet.co.jp/f_works07.htm 】

今月の新技術紹介

情報開示関連技術 のご紹介

■ 情報開示関連業務とは

公共投資であれ PFI であれ、これからの建設投資はそれに関係する市民との合意形成や共同作業というスタンスが不可欠と考えられます。このような市民とのコミュニケーションには、専門的技術や広範・膨大な検討資料をいかにわかりやすく、正確に市民に伝達するか、また様々な市民の意見や希望をいかにして集約し、合意形成していくか、そのような技術が要求されます。KRC では、施工状況や劣化した構造物の状況などの調査結果を、



大規模工事の施工管理システム

正確かつわかりやすく意思決定者に説明する技術として、早くから静止画像や動画の心理学的特性・色彩学などを研究して参りました。今日の情報開示技術はこれらの基礎技術をもとに、土木・建築分野の専門家と、デザイナー、カラーコーディネータ、ビデオディレクター、ミュージシャンなどが加わり、コンピュータ技術と連携して PC ディレクター・マルチビデオ・3D コンピュータグラフィックス、印刷物などを制作しております。当社会社案内やホームページ、技術カタログなどもすべて自社制作です。【 http://www.krcnet.co.jp/f_tech.htm 】

この技術はまた、3D を駆使した GIS の構築や、複雑な大規模工事の一元化施工管理システム、埋蔵文化財等のデータベース、道の駅・ダム施設における展示などにも応用しております。情報取得技術とならんで、計測リサーチコンサルタントの情報開示、展示技術にもご注目ください。



当社ホームページ画面

■ 日光川放水路西中野排水機場ホームページ制作

インターネットホームページは情報公開に最も有効な情報ツールのひとつです。日光川放水路西中野排水機場ホームページは KRC が企画・制作・メンテナンスを担当させていただいているページのひとつです。【 <http://www.nikkougawa.com/> 】

ポンプ場という市民の生活に直結する施設の建設がどのようにして行われているか、市民がリアルタイムに施工状況を知ることができます。また工事の安全や環境への影響にどのように配慮がなされているか



現場見学会のページ

などに関心を寄せ、地域のこともたちの総合的学習にも役立てていただいています。

こうしたホームページでの情報公開は CALS の一環として各

方面から注目されつつあり、今後定着していくものと思われます。ホームページの制作という技術は今日ではきわめて容易なもので、小・中学生でも自分のページをつくって公開する時代ですが、真に市民との合意形成のツールとして、正確でわかりやすい情報提供を行うには、それなりの専門的技術に裏打ちされた確固たる技術思想が必要なことを痛感致します。



トップページ

今月の HOT NEWS

- ★ 8月 27-29 日、シンガポール、Hotel New Otani で開催の“The 28th International Conference on OUR WORLD IN CONCRETE & STRUCTURES (OWIC2003)”では、当社の Dr.Sumitro ほかの論文、'Structural health monitoring paradigm for concrete structures' が発表されます。ご参加の方は、8月29日、11:00-13:00 の Technical Session 1B にぜひおいでください。
【 <http://www.cipremier.com/ciframeset.htm?index2.htm> 】
- ★ 土木学会コンクリート委員会「コンクリート構造物のヘルスマニタリング研究小委員会」のホームページが公開されました。このページは当小委員会幹事長の芝浦工業大学の勝木先生のページです。
【 <http://www.db.shibaura-it.ac.jp/~katuki/healthmonitoring/index.html> 】
当社の羅黄順が WG2 の主査を務めております。ヘルスマニタリング技術、とくにデータ伝送、通信システムなどに関して、ご意見ご提案などをお寄せください。
- ★ 当社 2003 年度の学会関連の開催予定と発表予定論文名などを掲載しております。
【 http://www.krcnet.co.jp/f_papers.htm 】
ご覧の上、何卒ご意見・お問い合わせなどお寄せいただきますようお願い申し上げます。

㈱計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせは、

電子メール :【 krc@krcnet.co.jp 】

ホームページ:【 http://www.krcnet.co.jp/mail/mail_maga.htm 】

で承っております。

ご不明の点・お気付きの点は、お手数ですがどうぞご一報いただきますようお願い申し上げます。

※配信停止については【 http://www.krcnet.co.jp/f_webreport.htm 】へお願い致します。